

# たいし 議会だより

## 第161号

発行／太子町議会 編集／議会広報特別委員会

平成29年12月定例会で決まったこと  
4議員が 町政を問う (一般質問)  
議会の動き

P 1 ~ P 2  
P 3 ~ P 5  
P 5 ~ P 6

12月定例会まじごとを決定しました

第4回定例会は、12月6日に招集され20日までの15日間にわたって開かれました。

今定例会では、29年度補正予算をはじめ、条例改正などについて審議され、すべての議案を可決しました。また、一般質問には、4人の議員が登壇し、活発な議論が交わされました。



### 29年度 補正予算

#### ● 一般会計専決処分

【内容】 台風21号被害  
に対する応急的な経費。

補正額 2188万1千円増額

歳入歳出総額 50億4589万2千円

#### ● 一般会計

補正額

1170万円増額

歳入歳出総額

50億5759万2千円

### 質疑

問 高齢者生きがい活動促進事業の概要は。

※意見をつけて賛成の討論がありました。

【答】 社会福祉協議会の有償ボランティア「プラスワンサービス」の移動支援部門、生活支援部門の立ち上げ事業が事業採択された。

問 府の福祉医療費助成制度再構築に伴う自働償還払いの実施予定は。

【答】 老人医療と障がい者医療の一部負担額の見直しに伴い、月額上限額の3千円を超える部分に係る償還払いの件数の増加が見込まれることから、受給者の負担軽減と利便性向上のため、2医療の自動償還払いを行う。

#### ● 国民健康保険

補正額

103万7千円増額

歳入歳出総額

18億8648万円

### 質疑

問 システム改修による住民負担があるのか。

【答】 一般会計から全額繰り入れるため、国保被保険者の保険料には影響はない。

問 システム改修の内容は。

【答】 データの属性(名前、生年月日、数字、桁数)などのデータ標準レイアウトを改修。

条例改正

●手数料徴収条例

質疑

問 総合事業の指定有効期間は。

答 6年。該当事業所は、町内の訪問介護事業所4件、通所介護事業所6件の計10件。

問 みなし指定とは。

答 総合事業が平成27年4月から全国で行われた。それまでに指定を受けた事業所は、30年3月31日まで指定申請をしなくとも、移行期間中なので手数料を徴収しないとみなされた。

- 議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例
●一般職の職員の給与に関する条例
●職員の退職手当に関する条例

質疑

問 退職金について。

①今後5年間の定年退職者数は。②今回の影響額は。③退職を迎える職員と協議は。④人事院勧告通りしないといけないのか。

答 ①15名。②影響額は約160万円。③この数年定年退職を迎える職員との協議は行っていないが、庁内ネットワークで、情報提供している。④労使協議が整わず人勧通りに実施しなかったことはある。

討論

【反対】 公務員の退職手当は、後払いの賃金で、労働条件の一部。5年ごとの引き下げは、退職後も課される守秘義務、雇用保険の適用がないなどの公務の特殊性を蔑ろにし、公務員の生涯設計に影響を及ぼすものであり反対。

【賛成】 民間企業の退職給付の状況と官民の均衡を図ることは、妥当なもの。1月1日の引き下げ実施時期についても妥当。労使関係についても評価できることから賛成。

●太子町広報紙6月号に示された「生涯学習施設」早期実現を求める請願

【生涯学習施設建設調査特別委員会 委員長報告】

採択を求める意見もあつたが、現在、建設場所などについて議論を行っているところ。早期実現については、異論はないが、町理事者側とも協議しており、その結果もまだ出ていないことから、引き続き『生涯学習施設建設調査特別委員会』で調査検討していく」として、継続審査とする。(6ページ参照)

第4回定例会 議決結果一覧表

Table with 11 columns (Item Name, Council Decision, and 10 Council Members: 中村直幸, 建石良明, 田中祐二, 寺町幸雄, 山田強, 西田いく子, 阪口寛, 村井浩二, 辻本馨, 森田忠彦, 羽山茂男, 審議結果) and 13 rows of items.

各議員の審議結果 ○賛成 ●反対 ー議長

12月定例会の一般質問

# 町政を問う

## 4人の議員が登壇

この記事については、質問者においてまとめたものです。

日本遺産認定の事業展開について..... P 3

少子化対策について..... P 3

国民健康保険料の引き下げを..... P 4

理念ある生涯学習施設に..... P 4

救急医療体制を守れ..... P 4

子育て支援策の前進を..... P 4

台風21号災害対応について..... P 5

### 日本遺産認定の事業展開について

**問** 日本遺産認定後の現状と今後の展開は。

**答** 現在、実行委員会では、日本遺産魅力発信推進事業として、イメージソングや沿道周辺の魅力をPRする動画の作成、観光客のターゲット設定に向けたおもてなしの調査と嗜好性調査の実施、日本遺産の特設ホームページの作成や、街道表示板を町内に整備を予定し、情報発信の強化を図っている。次年度以降は、観光パンフレットの作成やホームページの多言語化、レンタサイクルの環境整備など検討。また、町独自に広報紙のシリーズ化、竹内街道交流館の臨時開館などを実施している。「日本遺産のまち 太子町」として住民一丸となった地域力が、これからのまちづくりにつながるものと考え、景観保全の取組みや空き家の活用を進

め、今年度中には大阪府との共同で空き家セミナーの開催も計画している。

### Q少子化対策について

**問** 本町の人口は平成17年をピークに減少傾向。平成28年に、人口減少・転入促進・転出抑制を含めた太子町人口ビジョン、太子町まち人・しごと創生総合戦略を策定。その施策の取組状況は。

男女が結婚に踏み切れない理由の一つである経済的負担の軽減を図れば、少子化に少しでも歯止めをかけ、定住促進に繋がるのでは。国の補助金を活用した結婚新生活支援事業の実施について検討できないか。

**答** 「就職や大学進学を契機とした若い世代の転出抑制をめざした

産業の振興と雇用の創出の実施」、「子育て世代の定住と新たな世帯の転入促進をめざした出産・子育て支援、教育施策の実施」、「高齢化する団塊世代の元氣維持をめざした、健康づくり・生きがいづくり施策の実施」のもと、次の4つの基本目標を掲げ、これまで様々な施策を実施してきた。「産業振興による活力ある地域創造戦略」、「太子町の情報発信・環境振興による知名度アップと交流人口の向上」、「妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援」、「地域への愛着心の醸成と地域の確かな暮らしを支える基盤づくり」を推進している。定住化促進及び転出抑制の観点からも結婚支援について取り組んで参りたいと考え、先例市の取り組みや実績を調査し、制度創設に向け検討していく。

山田 強 議員

# 国民健康保険料の引き下げを

西田いづ子 議員

**問** 4月から国保の財政運営は、都道府県で行うことになる。府の試算では、太子町は値上がりする自治体になる。4月から国保料はどうなるのか。予算編成の住民への周知など、間に合うのか。

**答** 国は法定外繰入を認めると言っている。府に方針の撤回を求め、町で国保料の値下げを。

**問** 府は、1月の早い時期に保険料を公表することのこと。国や府の法定外繰入に対する考え方を参酌しつつ、一般会計繰入は適切に判断したい。府や市内町村と協力しながら、国保の広域化に向けた準備を進めていきたい。

## Q 理念ある生涯学習施設に

**問** 公民館と図書館を併せ持つ生涯学習施設建設計画は「良いもの

をつくる」という思いを一致させて、今に至っている。9月議会でも町長自ら「計画自体を知らない住民もいらつしやる」と認めている。特別委員会では「生涯学習施設建設場所の再検討について」を町長に申し入れた。

① 早急に場所の再検討を。

② 理念は何なのか。

③ 中身についても議論を深めるべき。12億円を超える事業なのに「基本計画」の全内容を議会に示していなかったのはなぜか。

④ 建設前後での公民館の稼働率、図書館の稼働率、サークル数の推移、利用する方の年齢層、役場駐車場の稼働率・満車時の対応、前道路の交通量調査など、つくるにあたって調べたことは。

⑤ 今なお、6月広報で示したスケジュール通りに建設できると考えるのか。

**答** 私は、建設場所の再検討をする考えはない旨、回答した。② 基本コンセプトは、昨年9月15日の議員全員協議会で説明した。③ 各部署の仕様等は、実施設計の段階で協議を行う。④ 教育委員会の点検と評価や公民館の活動報告で把握している。

生涯学習施設の工事中、完成後共に、来庁者用駐車場の確保に向けて具体的に進めている。⑤ ともではないけれども、当初計画していた31年の文化祭に間に合うようにというこの流れは到底無理だと私は思っている。

## 要望

図書館の意見を聴いたというが、1件だけ。司書の正規化、司書資格を持つ館長の配置を。職員や住民の声を集め、歴史豊かな文化の香る聖徳太子のまち太子町にふさわしい生涯学習施設に。

# 救急医療体制を守れ

阪口 寛 議員

**問** 救急医療体制が整っているかどうかは、住民が安心して暮らせるかどうかの柱。

南河内医療圏には近畿大学付属病院があるが、堺市に移転が決まった。当初、新分院として300床は残すとされたが、今年11月に、完全撤退と発表された。

南河内医療圏から3次救急医療体制が無くなることも含めて、本町の今後の救急医療体制をどう守っていくのか。

**答** 南河内9市町村長の連名で、近大に大阪狭山市に残る病院の医療機能について、三次救急等の災害センターをはじめ、小児、周産期医療等の医療機能を維持させる要望をしていたが、経営上の理由で大阪狭山市の病院は閉鎖するとなった。現在の2次救急医療

病院は、24か所から1か所減ることになるが、対応は可能。3次救急も南河内医療圏域から堺の病院で受け入れるとのこと。しかしながら、懸念もあり、近大、大阪府に医療体制の確保を強く要請していく。

## Q 子育て支援策の前進を

**問** 昨年より「子育て支援課」を新たに設置したが、取り組み内容は。

また、大阪の子どもの貧困率は依然として高いが、貧困によって子どもの被る否定的影響を除去・軽減する施策が必要。学習支援や子ども食堂の取り組み、子どもの医療費助成を高校卒業まで実施できないか。

教育の支援について、就学援助の拡充、とくに、入学準備金を入学前に支給できないか。

**答** 「子育て世代包括支援センター」を設置し、妊娠前から思春期までの育児・子どもの成長を切れ目なく支援する施策の推進に努め、庁内の関係課、各学校園や関係機関等と連携し、オール太子での支援体制が確立されてきている。

学習支援事業は毎週水・金曜日に町立公民館で実施し、7人が利用。「子ども食堂」は、食事や居場所を提供する活動で、町内のNPO法人、母子生活支援施設で実施され、町としての関わり方を現在調査検討している。子どもの医療費助成制度の高校卒業までの実施は、限られた財源の中で検討しなければならぬ。入学準備金の就学前支給は、文科省初等中等教育課からの通知もあり、町の子育て支援策として検討を進めている。

# 台風21号災害対応について

村井 浩一 議員

**問** 台風21号による被災状況と土砂災害箇所は今後について、そして農林災害が激甚指定されたが、制度の概要と受益者の負担割合を教えてください。あわせて、国庫補助を受けられない農業関連施設の復旧について本町の考えを尋ねる。

町単独事業により順次復旧を行っていく。農業用排水路の溢水により農地が被災した箇所も、水路の維持管理を行っている地元団体の意見を伺いながら、必要であれば改修等も今後検討する。

山地崩壊等の被害が発生した山田地区の南新池及び文化池周辺部については、一層の土砂災害の抑制を図るため、区域全体での砂防事業等の実施を考えている。

## Q 台風21号災害から見えたこと

**問** 災害発生時より、まちづくり推進部には災害対応業務が集中し、担当・技術職員の不足が対応の遅れの一因にあると考えるが、町長の見解を伺う。

**答** まちづくり推進部では、情報収集などの初動態勢から災害発生

時の対応までと幅広く業務を担っており、業務が、適宜、他の部署の職員も災害業務に携わり、オール太子町で災害への対応の任務に就いており、地域の一日も早い復旧をめざしてまいります。

地域住民等と災害に伴うリスクを共有し、平時から災害時を想定した訓練などを通して、迅速かつ円滑な応急対応を実施し、安全安心なまちづくりに努めて参ります。



土砂で埋まった水路、崩れた道路

# 議会のうごき



町村議会議長全国大会

## 町村議長 全国大会

『町村議長全国大会』に先立つ、11月20日に東京国際フォーラムにおいて、開催された『地方自治法施行70周年記念式典』に出席しました。式典では、地方自治功労者・団体表彰や『地方自治法70年の歴史と展望』人口減少社会における地方自治制度のあり方について『』と題した記念シンポジウムが行われました。

11月22日、東京NHKホールにて、『第61回町村議会議長全国大会』が開催され、全国の町村議会関係者が参加しました。

『東日本大震災及び熊本地震からの復旧・復興と大規模災害対策の確立に関する特別決議』他4件の決議や国に対する要望事項が示され、地方創生をさらに深化させるためにも、一致結束して、果敢に行動していくことを宣言しました。また、元総務大臣・岩手県知事の増田寛也氏から『地方自治を突き豊かに』と題しての特別講演があり、地方自治法施行70周年の節目にあたり、地方自治を突き豊かに育み、その先にある地方創生を実現するために町村議会が果たせる役割は何か、地方に元氣と活力を取り戻すためのヒントを語っていただきました。

次の定例会は、3月に開催されます。ぜひ、傍聴にお越しください。

日程については、ホームページ、広報無線でお知らせします。

## 議員の香典・弔電の自粛、挨拶状を廃止しています

太子町議会では、公職選挙法の趣旨を尊重する立場から、町民の皆様への弔事に際しまして議員個人の香典等の自粛、挨拶状の廃止を申し合わせています。皆様方のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

### 総務まちづくり 常任委員会

10月の台風により、被害にあわれた方々に心からのお見舞いを申し上げます。

12月11日、台風21号被災箇所を視察しました。

長雨が続く中、10月には珍しい台風(21号)が、21日から22日にかけて、近畿地方を襲いました。

太子町でも45か所の被害が確認されています。

今回、被害状況を視察した「南新池」「文化池」に行くまでの道が崩れ、車が通行できなくなっています。水路が倒木や土砂で完全に埋まり、本来の道路が水路となっていました。写真にあるよう



倒木で途絶えた山道

に倒れた木が、行く手を阻んでいます。自然の脅威を改めて実感しました。

台風21号被害は、国の

激甚災害指定され、太子町では、「農業用施設災害復旧事業」として、復旧工事を行います。

崩壊した池は、春になると田に水を引くために必要な大切なため池です。早急に修理しなければなりません。

太子町の農業を守り、安全・安心のまちづくりを町議会も迅速な対応を求めています。

#### ◎対象農業用施設災害復旧事業費

##### ・南新池

320万5千円

##### ・文化池

2358万4千円

### 日本共産党



富田林市きらめき創造館にて

11月24日、富田林市の『きらめき創造館』を視察しました。山本勝也生

涯学習部長、増井課長、野浦主幹に計画から完成まで、市と市民がどのように関わって、現在の青少年が集う施設になったのか、施設内を視察し、話を伺いました。

市の公会堂と青少年センターを統廃合し、公会堂跡地に青少年をはじめとした市民の皆さんの自主的な活動を支援し、生涯にわたる学習活動を促進することを目的とした新施設建設が計画された際、一般公募で若者を集

め「青少年委員会」を立ち上げて、意見を聴きながら、計画を練ったそう

で、今、多くの青少年が集う活気のある施設になっています。太子町で生涯学習施設を建設するにあたって多くの住民の意見を聴くことが大切だと感じました。

また、12月9日、守口市で開催された『図書館シンポジウム』に参加しました。「図書館事業を進めるには、しっかりと見識、ポリシーを確立し、そのためにも計画的・持続的に図書館活動を推進できる職員体制の整備が必要」との話は、町の図書館建設にも生かしたいと思いました。



大阪教育大学名誉教授 塩見昇氏講演

### 生涯学習施設建設調査特別委員会

住民の声が反映された「生涯学習施設」(公民館・図書館)建設のために設置された特別委員会です。ぜひ、みなさんのご意見ご要望をお寄せください。

第5回(10月18日)の

特別委員会で、町長宛に建設場所を再検討してもらおうよう文書を提出することが決まりました(賛成多数)。

第5回以降の特別委員会の経過を報告します。

12月6日 議長名で

「生涯学習施設建設場所の再検討について(申し入れ)」要旨

「役場前の私有地の土地所有者に再度交渉していただきますよう申し入れました。」

12月8日 町長名で

「生涯学習施設建設場所の再検討について(回答)」要旨

「生涯学習施設の建設場所について、再検討する予定はございません。」

12月19日

第6回 特別委員会

・場所を再検討することに対する議会の申し入れに対する町長の回答について。

・『太子町広報紙6月号』に示された「生涯学習施設」早期実現を求める請願」についての取り扱い

【内容】採択を求める意見と継続審査を求める意見とがあり、継続審査となりました。

◎継続審査についての賛否

賛成(5人)

羽山・森田・阪口・西田・中村

反対(5人)

村井・山田・寺町・田中・建石

※可否同数のため辻本委員長裁定により継続審査と決まりました。